

平成 28 年度 うさみの園ショートステイ

事業報告書

1. 事業運営の概況

・処遇やサービス面において、利用者様 1 人ひとりの意志及び人格を尊重し、利用者様の心身の状況に配慮した。居宅における生活への復帰を念頭において、ご利用前後の生活が連続したものになるよう配慮した。ユニット内で利用者様が相互に社会的関係を築き、自立的な日常生活を営む事ができるよう支援に努めた。

・昨年度に引き続き市内のショートステイ事業所の増加により、今年度初旬は稼働率が伸び悩んだ。しかし、相談補助の人員強化により急な利用依頼や困難事例の相談に応じ続けた結果が実を結び、夏場の利用増加と共に以降も高い水準で稼働を維持する事ができた。平成 28 年度の利用述べ人数 6,082 名、平均稼働率 83.3%となった。

2. 事業計画実施状況

(1) 業務の改善

① レクリエーションの充実

サービス担当者会議や利用者様・ケアマネジャーの意見で「ショートステイ利用時における利用者の日中の過ごし方に対する不満」が挙げられている経緯から、レクリエーションの充実を図り、利用者様の利用満足度の向上に努めた。

② 会議・委員会

管理運営会議をはじめ、各種委員会の会議に積極的に参加すると共に、委員会で取り上げられた課題・改善策等をユニット運営も反映させた。

③ 給食業務

お楽しみランチ等を提供し、日常の食事に変化を持たせると同時に、個々の利用者様の食事形態を把握・提供することで、安全に適切な摂取量を保てるよう努めた。

④ 個別介護支援

入所サービス提供計画に基づいた短期入所生活介護計画書を作成し、計画書に沿った利用者単位のサービスの提供に努め、定期的なモニタリング・アセスメントを行いサービスの向上に努めた。

(2) 環境整備

インフルエンザやノロウイルス等の感染症に利用者様・職員とも罹患しないよう、日頃から施設内感染を防ぐことに重点をおき、全職員が感染症予防のための研修や衛生管理を徹底した。特に流行時期は職員・面会者にマスクの着用と手指消毒を徹底することによって、感染症予防の良い効果を得ることが出来た。

(3) 職員の資質向上

① 内部研修

年間に計画された毎月1回の内部研修に積極的に参加した。

② 外部研修

静岡県社会福祉協議会等、外部団体主催の研修に参加した。

③ 自己研鑽

研修会に参加するとともに、自己による資格取得に向けた学習、自己の資質向上のため関連する知識・技術の習得に努めた。

(4) 防災対策

① 施設内訓練・研修

大規模地震・火災その他の災害から利用者及び職員等の生命・身体の安全と保護を優先すると共に施設の保全を図るため、防火管理者の計画する訓練に参加し、有事の際の行動の基本体験実習を行った。

② 施設外訓練・研修

関連機関の研修会・訓練に参加、あるいは報告を受けて多様化する防災対策、災害時の対応、災害後の対策を身近に感じ考えることを学んだ。